

省エネ基準工事監理報告書【簡易版】

《本様式の使用について》

本様式は、原則、次の①から③までの全てが同じ審査機関の場合に使用することができます。詳しくは、完了検査を申請する審査機関にご確認ください。

- ① 完了検査の申請先である建築主事が所属する特定行政庁又は指定確認検査機関
- ② 建築物エネルギー消費性能適合性判定（変更の判定を含む。）を行った所管行政庁又は登録建築物エネルギー消費性能判定機関
- ③ 軽微な変更があった場合、軽微変更該当証明書の交付を行った所管行政庁又は登録建築物エネルギー消費性能判定機関

工事監理報告書は、確認申請書に記載された工事監理者が責任をもって作成し、建築主事等に提出するものであり、以下に注意して作成すること。

1. 省エネ基準工事監理報告書は、特に指示のある場合を除き、原則、工事完了後速やかに提出すること。
2. 建築物が複数棟ある場合は、第一面を除き、棟ごとに各様式を作成する必要がある。（モデル建物法で複数の建物モデルを使用している場合も同様とする。）
3. 「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律」第23条の「特殊の構造又は設備を用いる建築物の認定」等の認定を受け、同法第12条第3項の規定により適合判定通知書の交付を受けたものとみなしている場合など、本様式集を用いることがそぐわない場合については、別途建築主事等と相談すること。

省エネ基準工事監理報告書【簡易版】

(第一面)

平成〇〇年△△月××日

確認検査機関〇〇〇 様

工事の監理状況を報告します。
この監理報告書及び提出書類に記載の事項は、事実と相違ありません。

工事監理者 建築 省太郎



1. 完了検査申請の概要

建築主氏名	株式会社〇〇 代表取締役 建築 省子		
敷地の地名地番	大阪府〇〇市△△町××番□□		
確認年月日・番号	平成 30年 〇月 △日 第 H30〇〇〇 号	計画変更確認 年月日・番号	平成 年 月 日 第 号

注) 計画変更の年月日・番号は最新のものを記載すること。

2. 建築物エネルギー消費性能適合性判定の対象となる建築物の概要

No.	枝番	建築物の名称および適判番号	工事種別	計算方法
1	1	株式会社〇〇 新社屋 新築工事 (工場棟)	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築	<input checked="" type="checkbox"/> モデル建物法 (建物モデル: 工場) <input type="checkbox"/> 標準入力法 <input type="checkbox"/> 計算対象外
		直近の判定を行った年月日・番号		
1	2	株式会社〇〇 新社屋 新築工事 (工場棟)	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築	<input checked="" type="checkbox"/> モデル建物法 (建物モデル: 事務所) <input type="checkbox"/> 標準入力法 <input type="checkbox"/> 計算対象外
		直近の判定を行った年月日・番号		
2		株式会社〇〇 新社屋 新築工事 (事務所棟)	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築	<input type="checkbox"/> モデル建物法 (建物モデル:) <input checked="" type="checkbox"/> 標準入力法 <input type="checkbox"/> 計算対象外
		直近の判定を行った年月日・番号		
			<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築	<input type="checkbox"/> モデル建物法 (建物モデル:) <input type="checkbox"/> 標準入力法 <input type="checkbox"/> 計算対象外
		直近の判定を行った年月日・番号	平成 年 月 日 第 号	

注) 完了検査を申請している建築物の中で、省エネ適合性判定の対象となる建築物について記載してください。

- 『No.』の欄については、建築物毎に確認申請書第四面の【1. 番号】に合わせた番号を記載してください。
- 『枝番』の欄については、『計算方法』の欄がモデル建物法であり、複数用途集計を行っている場合に番号を振ってください。
- 『計算方法』の欄がモデル建物法の場合は、建物モデルを記載してください。なお、建物モデルは以下の通りです。

○事務所 ○ビジネスホテル ○シティホテル ○総合病院 ○クリニック ○福祉施設 ○大規模物販 ○小規模物販
○学校 ○幼稚園 ○大学 ○講堂 ○飲食店 ○集会所 ○工場

・記入欄が足りない場合には、(第一面 別紙)に記載してください。

省エネ基準工事監理報告書【簡易版】

(第一面 別紙)

2. 建築物エネルギー消費性能適合性判定の対象となる建築物の概要

No.	枝番	建築物の名称および適判番号		工事種別	計算方法
				<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築	<input type="checkbox"/> モデル建物法 (建物モデル:) <input type="checkbox"/> 標準入力法 <input type="checkbox"/> 計算対象外
		直近の判定を行った年月日・番号	平成 年 月 日 第 号		
				<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築	<input type="checkbox"/> モデル建物法 (建物モデル:) <input type="checkbox"/> 標準入力法 <input type="checkbox"/> 計算対象外
		直近の判定を行った年月日・番号	平成 年 月 日 第 号		
				<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築	<input type="checkbox"/> モデル建物法 (建物モデル:) <input type="checkbox"/> 標準入力法 <input type="checkbox"/> 計算対象外
		直近の判定を行った年月日・番号	平成 年 月 日 第 号		
				<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築	<input type="checkbox"/> モデル建物法 (建物モデル:) <input type="checkbox"/> 標準入力法 <input type="checkbox"/> 計算対象外
		直近の判定を行った年月日・番号	平成 年 月 日 第 号		
				<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築	<input type="checkbox"/> モデル建物法 (建物モデル:) <input type="checkbox"/> 標準入力法 <input type="checkbox"/> 計算対象外
		直近の判定を行った年月日・番号	平成 年 月 日 第 号		
				<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築	<input type="checkbox"/> モデル建物法 (建物モデル:) <input type="checkbox"/> 標準入力法 <input type="checkbox"/> 計算対象外
		直近の判定を行った年月日・番号	平成 年 月 日 第 号		
				<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築	<input type="checkbox"/> モデル建物法 (建物モデル:) <input type="checkbox"/> 標準入力法 <input type="checkbox"/> 計算対象外
		直近の判定を行った年月日・番号	平成 年 月 日 第 号		
				<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築	<input type="checkbox"/> モデル建物法 (建物モデル:) <input type="checkbox"/> 標準入力法 <input type="checkbox"/> 計算対象外
		直近の判定を行った年月日・番号	平成 年 月 日 第 号		

注) 完了検査を申請している建築物の中で、省エネ適合性判定の対象となる建築物について記載してください。

- ・『No.』の欄については、建築物毎に確認申請書第四面の【1. 番号】に合わせた番号を記載してください。
- ・『枝番』の欄については、『計算方法』の欄がモデル建物法であり、複数用途集計を行っている場合に番号を振ってください。
- ・『計算方法』の欄がモデル建物法の場合は、建物モデルを記載してください。なお、建物モデルは以下の通りです。

<input type="checkbox"/> 事務所	<input type="checkbox"/> ビジネスホテル	<input type="checkbox"/> シティホテル	<input type="checkbox"/> 総合病院	<input type="checkbox"/> クリニック	<input type="checkbox"/> 福祉施設	<input type="checkbox"/> 大規模物販	<input type="checkbox"/> 小規模物販
<input type="checkbox"/> 学校	<input type="checkbox"/> 幼稚園	<input type="checkbox"/> 大学	<input type="checkbox"/> 講堂	<input type="checkbox"/> 飲食店	<input type="checkbox"/> 集会所	<input type="checkbox"/> 工場	

(第二面)

建築物の概要（第一面より転記）

No.	枝番	建築物の名称	工事種別
2		株式会社〇〇 新社屋 新築工事（事務所棟）	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築

※この様式は建築物毎に作成してください。

報告事項の確認結果

項目	報告事項	照合を行った設計図書	確認方法	確認結果
1. 外皮	① 外壁等を構成している建材の仕様、設置状況	矩計図	A B C	適・不適
	② 窓の仕様、設置状況（ブラインドボックス、庇の設置状況を含む）	建具表 平面図	A B C	適・不適
2. 空気調和設備	① 熱源機器の仕様、設置状況	系統図 空調機器表	A B C	適・不適
	② 冷暖同時供給の有無		A・B・C	適・不適
	③ 熱源機器に係る台数制御の設置状況		A・B・C	適・不適
	④ 蓄熱システムの仕様、設置状況		A・B・C	適・不適
	⑤ 2次ポンプの仕様（流量制御方式を含む）、設置状況		A・B・C	適・不適
	⑥ 2次ポンプの変流量制御の設置状況		A・B・C	適・不適
	⑦ 2次ポンプに係る台数制御の設置状況		A・B・C	適・不適
	⑧ 空調機の仕様、設置状況	空調機器表 空調配管平面図	A・B C 納入仕様書	適・不適
	⑨ 空調機ファンの変風量制御の設置状況		A・B・C	適・不適
	⑩ 予熱時外気取入れ停止制御の設置状況		A・B・C	適・不適
	⑪ 外気冷房制御の有無		A・B・C	適・不適
	⑫ 全熱交換器の仕様、設置状況	系統図 機器表	A・B C 納入仕様書	適・不適
	⑬ 全熱交換器の自動換気切替機能の設置状況		A・B・C	適・不適
3. 換気設備	① 換気設備（換気代替空調機を含む）の仕様、設置状況	ダクト平面図 機器表	A・B C 納入仕様書	適・不適
	② 換気設備に係る各種制御（換気代替空調機を含む）の設置状況		A・B・C	適・不適
4. 照明設備	① 照明器具の仕様、設置状況	平面図	A・B C 納入仕様書	適・不適
	② 各種制御の状況 【在室検知制御・タイムスケジュール制御・初期照度補正制御・明るさ検知制御】	機器仕様書	A・B C 制御仕様書	適・不適
5. 給湯設備	① 熱源機器の仕様、設置状況	機器表	A B C	適・不適
	② 給湯配管の保温の仕様、設置状況	配管平面図	A B C 写真	適・不適
	③ 節湯器具の仕様、設置状況	機器表	A B C	適・不適
	④ 太陽熱利用設備の仕様、設置状況		A・B・C	適・不適
6. 昇降機設備	昇降機の仕様、設置状況	EV仕様書	A・B C EV試験成績表	適・不適
7. 太陽光発電設備	① 太陽光発電設備の仕様、設置状況		A・B・C	適・不適
	② パワーコンディショナの仕様、設置状況		A・B・C	適・不適
8. コージェネレーションシステム	コージェネレーションシステムの仕様、設置状況		A・B・C	適・不適

【注意】

1. 計算対象となる設備等が無い場合は、当該設備等に係る項目の記載は不要です。
2. 「照合を行った設計図書」の欄は、建築物省エネ法施行規則第1条第1項に規定する図書等のうち、工事監理で照合を行った図書を記載してください。
3. 「確認方法」の欄は、A・B・Cのうち、該当するものを○で囲んでください。Cに該当する場合は、確認に用いた具体的な書類を記載してください。

A: 目視による立会確認 B: 計測等による立会確認 C: 施工計画書等・試験成績書等による確認